

# 情報提供

那医発第 667 号  
令和 5 年 3 月 8 日

施設長 各位

那覇市医師会  
会 長 友利 博朗  
担当理事 宮城 政剛



平素より医師会事業へのご支援ご協力賜り感謝申し上げます。  
沖縄県医師会を通じて「おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査への協力依頼について」の通知が届きましたのでご案内申し上げます。

☆ 問合せ先 (那覇市医師会 事務局: 宮城・前泊 / 電話 098-868-7579)  
..... 記 .....

沖 医 発 第 1781 号  
令 和 5 年 3 月 3 日

地区医師会担当理事 殿

沖縄県医師会  
常任理事 中田安彦



おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査への協力依頼について

今般、日本医師会から標記文書の発出がありましたのでご連絡致します。

おたふくかぜワクチン接種後の無菌性髄膜炎の発生頻度に関しては、データが不十分であることから、さらなる調査が必要とされております。

本件は、同調査が令和 5 年 3 月をもって終了となることを踏まえ、より多くの医療機関に協力いただけるよう、再周知を依頼するものとなっております。

同調査は、おたふくかぜワクチンの定期接種化を検討するための参考資料とすることを目的としており、1 歳から小学校就学前までの小児を対象に、接種後の副反応の有無を把握する一次調査と、一次調査で副反応を疑う症状が出た症例の詳細な検討を行う二次調査の二段階調査となっております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、貴管下関係医療機関等への周知方につきご高配を賜りますよう、よろしく願いについての追加申し上げます。

記

- おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査への協力依頼について  
(令和 5 年 2 月 24 日 日医発第 2212 号(健Ⅱ))

沖縄県医師会事務局業務 2 課: 高良、平良  
TEL:098-888-00887  
FAX:098-888-0089  
g2@okinawa.med.or.jp

日医発第 2212 号（健Ⅱ）  
令和 5 年 2 月 24 日

都道府県医師会  
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長  
釜 菫 敏

### おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査への協力依頼について

日本小児科学会、日本医療研究開発機構（AMED）の実施するおたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査については、令和 3 年 8 月 25 日付（健Ⅱ 280F）をもって貴会宛ご連絡いたしました。

今般、厚生労働省より、各都道府県等衛生主管部（局）宛標記の事務連絡がなされるとともに、本会に対しても周知方依頼がありました。

本事務連絡は同調査が令和 5 年 3 月をもって終了となることを踏まえ、より多くの医療機関にご協力いただけるよう、再周知を依頼するものです。

同調査は、おたふくかぜワクチンの定期接種化を検討するための参考資料とすることを目的としており、1 歳から小学校就学前までの小児を対象に、接種後の副反応の有無を把握する一次調査と、一次調査で副反応を疑う症状が出た症例の詳細な検討を行う二次調査の二段階調査となっております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただくとともに、郡市区医師会及び関係医療機関に対する周知方、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

（参考）

おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査について：

<https://mu-vs-d-faq.children.jp/>

厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会における予防接種制度の見直しについて（第二次提言）：

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002b6r0.html>

第 15 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会：

[https://www.mhlw.go.jp/stf/ncwpage\\_08940.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/ncwpage_08940.html)

事 務 連 絡  
令 和 5 年 2 月 21 日

公益社団法人日本医師会 御中

厚生労働省健康局予防接種担当参事官室

おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査への  
協力依頼について（周知）

予防接種行政につきましては、日頃より御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。おたふくかぜワクチンについては、平成24年5月にとりまとめられた「予防接種制度の見直しについて(第二次提言)」において、広く接種を促進していくことが望ましいワクチンの1つとされ、定期の予防接種に位置づけるかについて検討を進めてまいりました。その検討の中で、令和2年1月の第15回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会において、おたふくかぜワクチン接種後の無菌性髄膜炎の発生頻度に関し、データが不十分であり、さらなる調査が必要とされました。そのため、令和3年4月1日より、公益社団法人日本小児科学会および新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業の研究班が合同で、おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査を実施しております。

本調査が令和5年3月をもって終了することも踏まえ、より多くの医療機関にご協力いただくために、別添のとおり、各地方公共団体に対して、関係機関等への周知を依頼しました。

貴会及び地域医師会におかれても、別添通知の内容について御了知いただき、当該調査について、貴会会員に周知をお願いいたします。

以上

事務連絡  
令和5年2月21日

各〔都道府県〕  
〔市町村〕  
〔特別区〕  
衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局予防接種担当参事官室

おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査への  
協力依頼について（周知）

予防接種行政につきましては、日頃より御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。おたふくかぜワクチンについては、平成24年5月にとりまとめられた「予防接種制度の見直しについて（第二次提言）」において、広く接種を促進していくことが望ましいワクチンの1つとされ、定期の予防接種に位置づけるかについて検討を進めてまいりました。その検討の中で、令和2年1月の第15回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会において、おたふくかぜワクチン接種後の無菌性髄膜炎の発生頻度に関し、データが不十分であり、さらなる調査が必要とされました。そのため、令和3年4月1日より、公益社団法人日本小児科学会および新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業の研究班が合同で、おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査を実施しております。（※）

現在、既に多数の医療機関にご協力いただいておりますが、本調査が令和5年3月をもって終了することも踏まえ、より多くの医療機関にご協力いただく必要があるところです。つきましては、管内の医療機関に当該調査に係る周知方、お願いいたします。

以上

（※）おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査についての詳細な説明は、適宜下記のURLよりご確認ください。

<https://mumps.children.jp>

また、登録方法については、添付の資料をご参照ください。（添付の資料については、2023年2月中に、日本小児科学会から日本小児科学会会員宛に郵送される予定とのことです。）

## Mumps Vaccine Safety Database への入力について

ご協力いただいた被接種者の情報は、以下の手順に従い入力してください。

## 1 調査用Webサイトにログインする

- ① 調査用Webサイトにアクセスする  
サイト名「Mumps Vaccine Safety Database 副反応報告集計」

Mumps 集計 検索

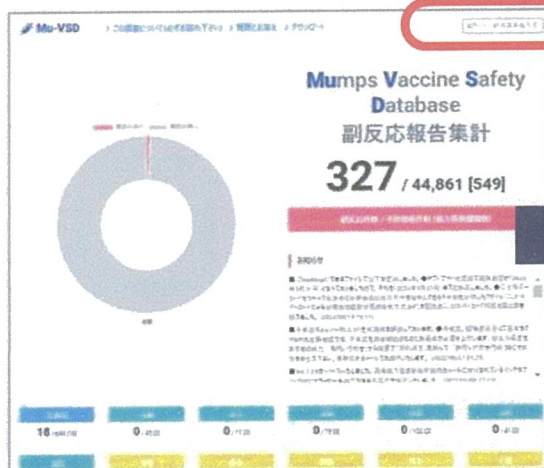
<https://mumps.children.jp>



- ② 画面右上「ログイン/新規調査協力医師」をクリックし、ログイン画面へ移動する

## 調査協力医へ登録済の場合

メールアドレス、パスワードを入力してログインしてください。



すでにID/パスワードをお持ちの方はこちらからログイン

調査協力医メールアドレス

パスワード

ログイン

Ver.1.2.12

パスワードを忘れた方

この調査に協力していただける医師は、まず連絡のために使うメールアドレスを入力して下さい。  
調査協力医を登録するページのURLをお伝えします。

✉メールアドレス:  送信

## 調査協力医へ未登録の場合

メールアドレスを入力し、調査協力医の登録手続きをお願いします。

## 2 マイページ上部から二次元コード印刷画面へ移動する

- ③ 二次元コード印刷はこちらをクリック

Mumps vaccine Safety Database Ver.1.2.12

マイページ

ようこそ、多屋馨子 (kitya@nih.go.jp) 所属：神奈川県衛生研究所

ログイン医師名：多屋馨子 (kitya@nih.go.jp) プロフィール修正

QRコード印刷

■ 新規接種例登録 - 【電話法】で接種後4・5週間の副反応を調査協力医自身が報告する場合はこちらで登録を開始して下さい。【QRコード法】で保護者のQRコード読み取りにて副反応報告を受け取る場合は、まず上の「QRコード印刷」をクリックしてあらかじめQRコード用紙を印刷、そして接種後に保護者に用紙を渡し、新規接種例登録をして下さい。

\*接種例の一括インポートはこちら

### 3 二次元コード報告用紙を印刷し、保護者へ渡す

Mumps vaccine Safety Database Ver.1.2.12

■ QRコード印刷 ■

感染研 多屋

QRコード報告用紙の利用について

保護者から副反応はなかったことを、簡単に報告してもらえ手順を準備しました。報告日(接種4,8週後)に保護者が用紙のQRコードをスマートフォンで読み取ってもらえば、副反応はなかった事がデータベースに報告されます。

QRコード報告用紙には、印刷時にデータベースが未使用のIDを作り出して、原則すべての用紙に異なるIDがそれぞれ印刷されています。一人の接種者につき一つの用紙をお使い下さい。

【利用の重要ポイント】

- 接種者ID用紙が足りなくなれば、毎週マイページから、必要枚数を選びダウンロードして下さい。
- 例えば10人分が必要なら、10枚を選びダウンロードして下さい。
- 印刷枚数は毎回必ず「1枚」にしてください。

【注意！】以下の利用・操作は決して行わないようにして下さい。

- × 用紙が足りなくなったので、過去にダウンロードしたPDFを、再度印刷して使う。
- × 既に印刷してある用紙をコピーして使う。
- × 印刷枚数を「2枚」以上にする。

4 必要な枚数を選択し、印刷する

印刷したいQRコードの枚数を選択して、「印刷実行」ボタンをクリック。クリック後PDFが読み込まれ、印刷枚数は1枚ずつ実行してください。印刷枚数が多すぎるとPDFが表示されるまで長時間がかかります。

印刷枚数 10枚

### 報告用紙見本

実際の報告用紙の画像

保護者用控え      医師が記入

**注意**

IDが重複するため、報告用紙の印刷は必ず被接種者一人あたり1部とし、コピー機などで複製しないでください。

### 4 マイページから新規接種例を登録する

5 画面上部「新規接種例登録」をクリック

Mumps vaccine Safety Database Ver.1.2.12

■ マイページ ■

新規接種例登録

自院接種データ閲覧

6 接種時に記入した「被接種者登録カード」の内容を入力する

保護者に渡した報告用紙に印刷されている被接種者IDを入力してください

被接種者ID  **新規作成**

接種時年齢 1歳 0か月

性別  男  女

本接種の回数

※11期追加の年齢で初めて接種されても「1回目」を選んでください。

1回目  2回目  3回目以上

接種ワクチンメーカー

武田薬品  第一三共

メモ ※400字以内

メモがある場合は入力し

入力完了したらクリック

確認ページへ進む

電話/対面で副反応の有無を確認する場合

二次元コードを利用せず、電話や来院時に副反応を確認する場合は、「**新規作成**」ボタンをクリックして被接種者に割り振るIDを発行してください。